

なかなかボート部時代のエピソードが絞りきれず、当時の写真を久しぶりにひっぱり出しました。2年生の時の理工系レガッタのものです。後列向かって左から、深堀、江刺、歌崎先輩(3年) 森、尾上です。前列は1年生達です。

この時 私は、初めての試合でした。江刺、森は一年生時に舵付きペアで大活躍しており、深堀はチャンに在籍しており経験充分でした。

私は、1年時は合宿中の飯炊き

当番をしていた記憶が強いです。チャンと食事は一緒なので、チャンの先輩に「今日の飯は上手く炊けてない！コース一周」と戸田コースをよく走らされていました。シェルフォア乗艇では、当然他のメンバーよりスキル、体力に差があり、練習は私の個人レッスン化していきました。何度も怒鳴られ水をかけられて辛かった記憶しかありません。

クルー自体はだんだんと調子を上げ、ある練習時にチャンから500メートルのレースの挑戦を受け、当然負けると思っていたのですが、なんと勝ってしまいました。チャンが悔しがり、「もう一本」と言ってきたのを深堀が笑顔で断りました。体力で劣る我クルーが、次の一本で勝てる可能性は無かったからです。でも大きな自信となりました。

理工系レガッタは、早大理工と東工大が強かったのですが、ここでも両校クルーを押さえてトップで予選を勝ち抜けました。決勝では、早大理工には、勝てたのですが予選で勝っていた東工大に僅かの差で負けてしまいました。普段の練習量の差で、決勝までの時間で体力回復が東工大より出来なかったのが原因だと思います。翌年の同レガッタには念願のエイトで出場(結果は散々の記憶)、そして深堀と全日本の舵無



2年生時の理工系レガッタ(後列右端筆者)

しペアの一発決勝レース出場も、結果は4位で深堀の足を引っ張ってしまったと今でも悔いています。(古い記憶なので、間違っていたらごめんなさい)

あれから48年経ち、記憶を頼りに当時のボートを中心にした生活を思い起こす中で、改めて貴重な財産になったと感じています。

就職は、きものチェーン店に入社。お客様も社員も圧倒的に女性が多くボート部の男臭い中で生活していたのでとても新鮮な職場でした。当初は営業からのスタートでしたので、今はなき管理工学科で学んだことは、ほとんど活かせませんでした。でもボート部で培った体力やチームワークのスキルは仕事にとっても役立ちました。

仕事中心の生活だった為、ボート部の仲間とはお互いの結婚式で会うくらいでしたが、60歳に関連会社へ出向して就業時間も責任も軽減したタイミングで、同期の深堀、江刺と久しぶりに会いました。彼らも同様に余裕ができたのです。40年振り

だったのですが、当時と話し方、性格全く変わっておらず、48年前に戻った感覚でした。それ以来、年に3回泊まりも含めゴルフメインで会って旧交を温めています。上の写真は直近の「北陸でカニ三昧+ゴルフ企画」の3人の写真です。次回は海外でのゴルフツアーとだんだんエスカレートしていつている感じです。この執筆の機会を与えていただいた下遠野様には感謝いたします。



13期の仲間(右端筆者)

以上